

事務事業名	公共施設解体撤去事業		所属部	掛合総合センター	所属課	市民サポート課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	市民サポートG	課長名	永瀬浩二
	施策名	〈08〉健全財政の維持		担当者名	茂富 加奈子	電話番号	0854-62-0300 (内線) 4502
	目的:対象	市の財政	意図	健全に運営する。			
	基本事業	〈025〉効率・効果的な財産の管理運用		予算科目	会計: 0:110 款: 0:8 目: 0:530 中事業: 0:3	大事業名	公共施設管理事業 中事業名 公共施設解体撤去事業
目的:対象	基金・財産	意図	効率・効果的に財産を管理運用する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・掛合ふるさと活性化センター(施設)</li> <li>・地区住民(掛合町住民)</li> </ul>	老朽化等により今後も利用が見込めない市有施設を解体撤去し、市有地の新たな有効利用につなげる
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R6 年度 )	施設老朽化により使用困難となったことや、地域拠点施設(掛合交流センター)があらたに設置されたことにより役割を果たしたとし、解体撤去工事を行った。あわせて、グラウンド内の遊具、花壇等の撤去も実施。相撲場は掛合小・中学校等が使用するため残しているが、掛合中学校付近に移設の予定がある。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・残存備品等 処分</li> <li>・解体撤去工事(校舎・体育館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残存備品(主に学校用品)は、必要な部局や交流センター等に有効活用してもらうよう働きかけた</li> <li>・周辺住民の協力・理解が得られるよう、丁寧に働きかけた</li> </ul>

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 解体撤去に伴う経費	千円	42,393	28,479	105,057	8,184
イ 減少した建物面積	m <sup>2</sup>	779.4	299.8	2,385.3	98.3
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
解体撤去工事 105,057千円 (掛合ふるさと活性化センター) 地方債: 合併特例債 その他: 大規模事業等基金繰入金	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	37,900	26,600	99,800	7,700
	その他	千円		400	5,257	
	一般財源	千円	4,493	1,479		484
	事業費計	千円	42,393	28,479	105,057	8,184

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	老朽化した施設の維持管理や修繕工事にかかる業務・経費が削減できる。また、解体撤去工事によりあらたな土地の有効利用が望める。
② 事業実施するうえでの課題	解体撤去工事を行うために、有害物資調査や設計等の専門的な知識・技術が必要。総合センター職員だけでは対応できないため他部局や業者と連携して業務にあたる必要がある。また、跡地利用については地元との協議を継続して行っているが、なかなか方向性が定まらず現実性が無い等課題が多い。また、地元自治会のボランティアにより草刈りなどされていたが、広大な敷地となりボランティアだけでは管理は困難。
③ 課題解決に向けた改革改善等	建設部に営繕協議。また、解体撤去工事の経験がある部署から情報提供をお願いする。跡地の管理および利用方法について、地元住民の要望や市役所他部局との調整を図る。